

## 2 主要業種の動向

(基準年の生産ウェイト上位9業種の動向(全18業種のウェイト計10,000))

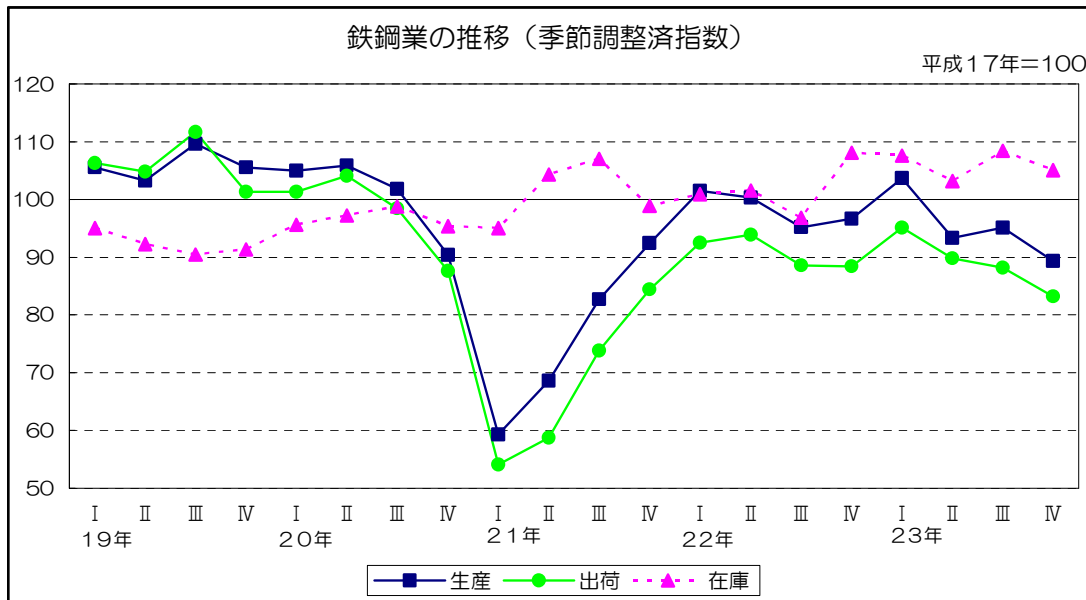
### (1) 鉄鋼業

- ① 生産(付加価値額ウェイト1147.2 生産18業種中3位)  
23年の生産は95.3で、前年比▲3.2%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、形鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材などは上昇したが、  
鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材などが低下したことによる。
- ② 出荷(出荷額ウェイト1093.4 出荷18業種中3位)  
23年の出荷は89.0で、同▲2.1%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、特殊鋼熱間圧延鋼材、形鋼などは上昇したが、  
特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼帯などが低下したことによる。
- ③ 在庫(在庫額ウェイト1146.8 在庫18業種中3位)  
23年の在庫は106.8で、同▲3.5%減と4年ぶりの低下となった。  
これは、銑鉄、鋼半製品などは上昇したが、  
特殊鋼冷間仕上鋼材、冷延広幅帯鋼などが低下したことによる。

鉄鋼業の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	105.9	100.8	76.0	98.4	95.3	103.7	93.3	95.1	89.3
前期(年)比	3.2	▲4.8	▲24.6	29.5	▲3.2	7.2	▲10.0	1.9	▲6.1
前年同期比	-	-	-	-	-	3.8	▲8.2	▲0.5	▲7.5
出荷	105.9	97.8	68.0	90.9	89.0	95.1	89.8	88.2	83.2
前期(年)比	2.1	▲7.6	▲30.5	33.7	▲2.1	7.6	▲5.6	▲1.8	▲5.7
前年同期比	-	-	-	-	-	2.5	▲4.6	▲0.3	▲6.3
在庫	95.2	99.0	102.1	110.7	106.8	107.6	103.2	108.4	105.1
前期(年)比	▲4.7	4.0	3.1	8.4	▲3.5	▲0.5	▲4.1	5.0	▲3.0
前年同期比	-	-	-	-	-	6.5	1.6	11.9	▲3.5



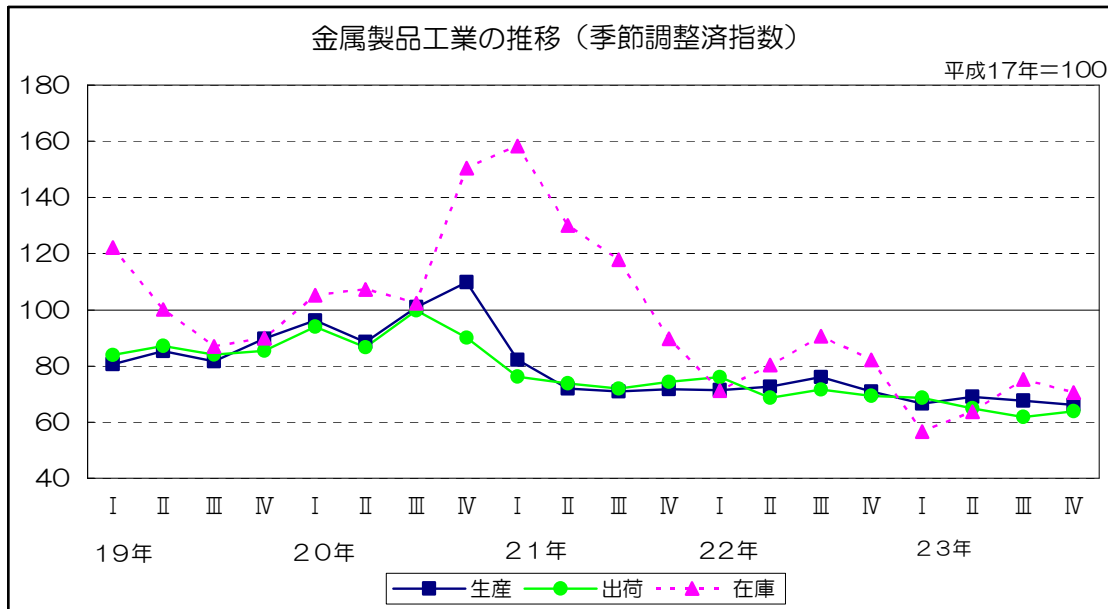
(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト631.2 生産18業種中6位）  
23年の生産は67.4で、前年比▲7.3%減と3年連続の低下となった。  
これは、ガス湯沸器、飲料用缶などは上昇したが、  
鉄構物、ガス炊飯器などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト593.3 出荷18業種中7位）  
23年の出荷は64.9で、同▲9.0%減と3年連続の低下となった。  
これは、ガス湯沸器、飲料用缶などは上昇したが、  
鉄構物、ガス炊飯器などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト394.4 在庫18業種中9位）  
23年の在庫は63.6で、同▲10.7%減と3年連続の低下となった。  
これは、ガス湯沸器、スチール又はステンレスシャッターなどは上昇したが、  
ガス炊飯器、飲料用缶などが低下したことによる。

金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	84.4	98.7	74.3	72.7	67.4	66.6	69.1	67.6	66.2
前期(年)比	▲15.3	16.9	▲24.7	▲2.2	▲7.3	▲6.1	3.8	▲2.2	▲2.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.1	▲6.0	▲9.3	▲6.6
出荷	85.3	92.6	74.3	71.3	64.9	68.6	65.0	61.8	63.9
前期(年)比	▲12.5	8.6	▲19.8	▲4.0	▲9.0	▲1.2	▲5.2	▲4.9	3.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲9.8	▲5.5	▲13.6	▲6.6
在庫	76.2	132.0	78.1	71.2	63.6	56.6	63.8	75.2	70.5
前期(年)比	▲40.8	73.2	▲40.8	▲8.8	▲10.7	▲31.1	12.7	17.9	▲6.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲23.8	▲23.1	▲13.8	▲10.7



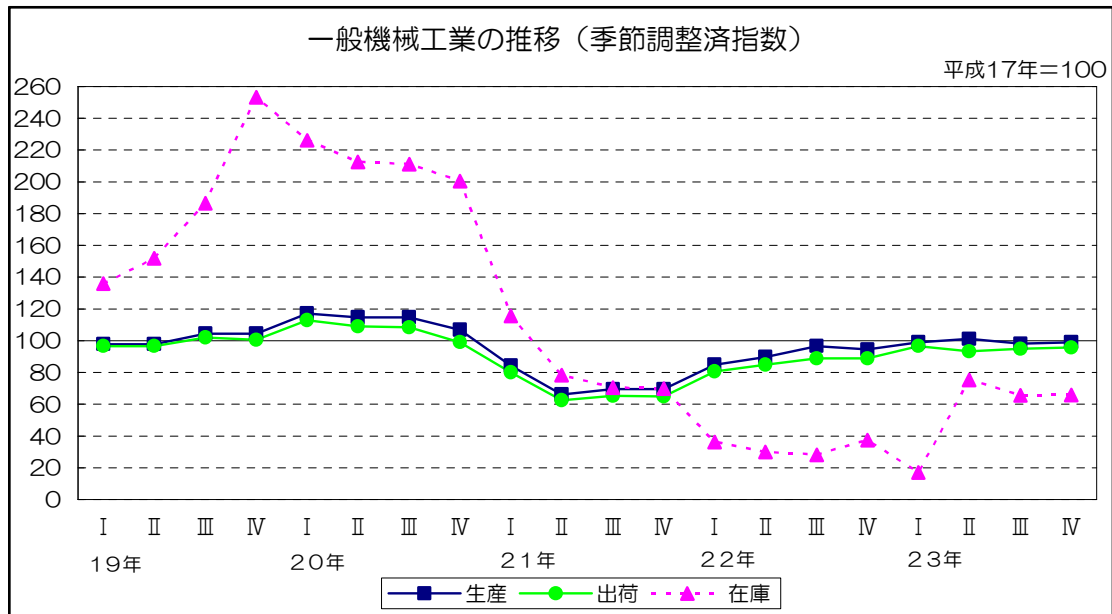
(3) 一般機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト904.5 生産18業種中4位）  
23年の生産は99.3で、前年比8.5%増と2年連続の上昇となった。  
これは、鉄鋼用ロール、半導体製造装置などは低下したが、  
フラットパネルディスプレイ製造装置や3バル系掘削機（油圧式）などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト790.3 出荷18業種中4位）  
23年の出荷は95.0で、同10.9%増と2年連続の上昇となった。  
これは、半導体製造装置、鉄鋼用ロールなどは低下したが、  
3バル系掘削機（油圧式）、フラットパネルディスプレイ製造装置などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト610.8 在庫18業種中7位）  
23年の在庫は74.0で、同80.0%増と4年ぶりの上昇となった。  
これは、ポンプや補器は低下したが、  
3バル系掘削機（油圧式）が上昇したことによる。

一般機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	101.2	113.7	72.7	91.5	99.3	99.0	101.2	98.2	99.1
前期(年)比	3.0	12.4	▲36.1	25.9	8.5	4.9	2.2	▲3.0	0.9
前年同期比	-	-	-	-	-	16.9	11.9	2.0	4.3
出荷	99.1	107.8	68.5	85.7	95.0	96.6	93.2	94.8	95.8
前期(年)比	2.4	8.8	▲36.5	25.1	10.9	8.8	▲3.5	1.7	1.1
前年同期比	-	-	-	-	-	20.6	9.6	7.4	6.1
在庫	218.5	167.2	64.5	41.1	74.0	17.0	75.1	65.5	65.9
前期(年)比	108.1	▲23.5	▲61.4	▲36.3	80.0	▲54.5	341.8	▲12.8	0.6
前年同期比	-	-	-	-	-	▲55.8	153.5	125.1	80.0



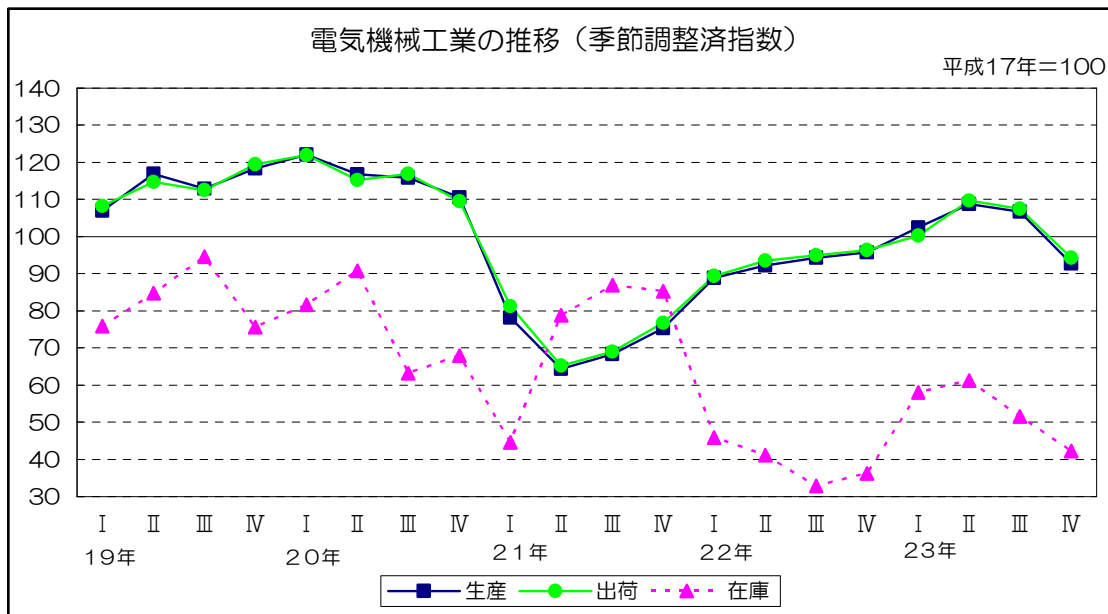
(4) 電気機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト370.3 生産18業種中9位）  
23年の生産は102.3で、前年比10.0%増と2年連続の上昇となった。  
これは、受信計、変圧計などは低下したが、  
電力変換装置、開閉制御装置などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト399.7 出荷18業種中9位）  
23年の出荷は102.4で、同9.3%増と2年連続の上昇となった。  
これは、電力量計、変圧器などは低下したが、  
電力変換装置、開閉制御装置などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト702.6 在庫18業種中6位）  
23年の在庫は46.8で、同12.5%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、電気温水器、電気ホイストは低下したが、  
電力量計が上昇したことによる。

電気機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	113.6	116.3	71.8	93.0	102.3	102.4	108.8	106.7	92.7
前期(年)比	3.9	2.4	▲38.3	29.5	10.0	7.0	6.3	▲1.9	▲13.1
前年同期比	-	-	-	-	-	15.3	18.4	13.2	▲4.9
出荷	113.5	115.9	73.4	93.7	102.4	100.2	109.7	107.5	94.3
前期(年)比	3.9	2.1	▲36.7	27.7	9.3	4.0	9.5	▲2.0	▲12.3
前年同期比	-	-	-	-	-	11.7	17.7	13.3	▲3.6
在庫	86.0	76.2	92.6	41.6	46.8	58.0	61.2	51.6	42.3
前期(年)比	▲9.9	▲11.4	21.5	▲55.1	12.5	60.2	5.5	▲15.7	▲18.0
前年同期比	-	-	-	-	-	31.5	54.2	52.2	12.5



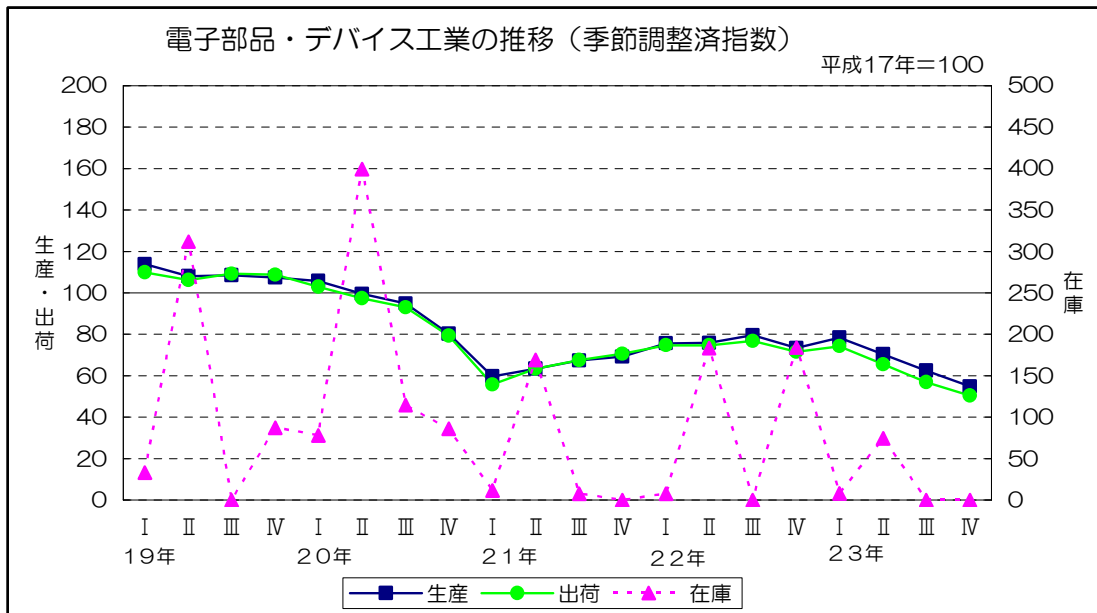
(5) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト553.5 生産18業種中8位）  
23年の生産は66.2で、前年比▲13.0%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、混成集積回路、整流素子は上昇したが、  
計数回路、線形回路などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト612.8 出荷18業種中6位）  
23年の出荷は61.5で、同▲17.4%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、混成集積回路、整流素子は上昇したが、  
計数回路、線形回路などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト139.5 在庫18業種中15位）  
23年の在庫は0.0で、同▲100.0%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、線形回路、計数回路が低下したことによる。

電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	109.4	95.0	65.1	76.1	66.2	78.5	70.3	62.4	54.8
前期(年)比	6.8	▲13.2	▲31.5	16.9	▲13.0	6.9	▲10.4	▲11.2	▲12.2
前年同期比	-	-	-	-	-	5.4	▲7.3	▲21.2	▲26.9
出荷	108.6	93.2	64.5	74.5	61.5	74.3	65.5	56.9	50.5
前期(年)比	8.2	▲14.2	▲30.8	15.5	▲17.4	3.8	▲11.8	▲13.1	▲11.2
前年同期比	-	-	-	-	-	0.0	▲12.2	▲25.9	▲30.2
在庫	87.6	86.4	0.0	183.9	0.0	7.9	74.6	0.0	0.0
前期(年)比	▲72.4	▲1.4	▲100.0	-	▲100.0	▲95.7	844.3	▲100.0	-
前年同期比	-	-	-	-	-	2.6	▲59.4	-	▲100.0



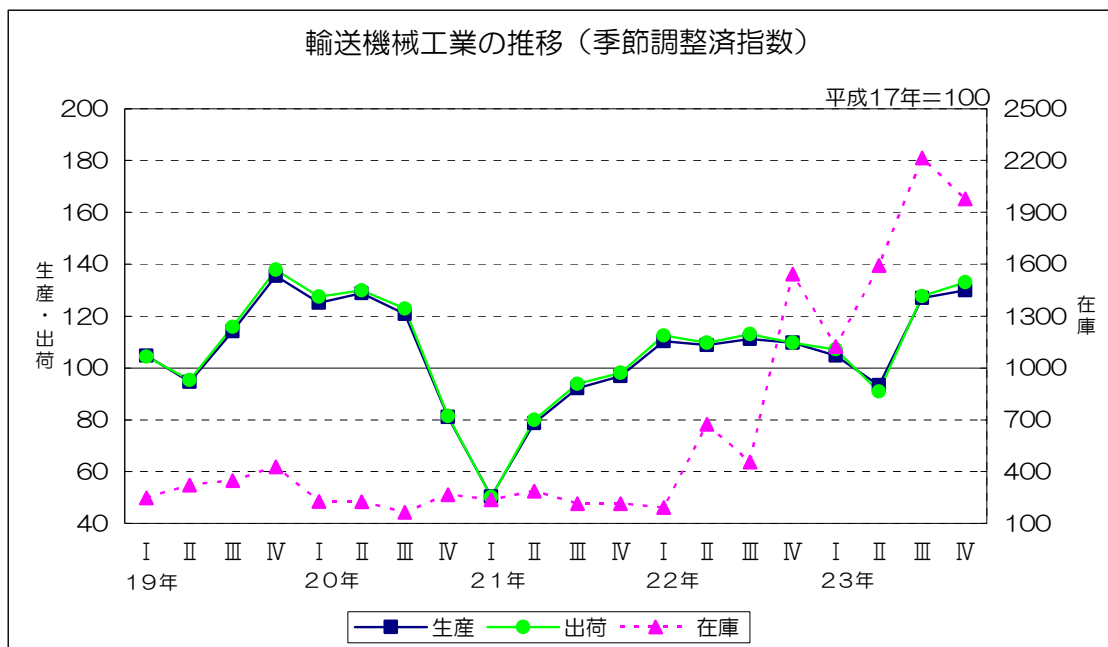
(6) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト2157.9 生産18業種中1位）  
23年の生産は114.6で、前年比4.4%増と2年連続の上昇となった。  
これは、鋼船、自動車部品などは低下したが、  
普通自動車、小型自動車などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2789.1 出荷18業種中1位）  
23年の出荷は115.9で、同4.4%増と2年連続の上昇となった。  
これは、鋼船、自動車部品などは低下したが、  
普通自動車、小型自動車などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1128.2 在庫18業種中4位）  
23年の在庫は1869.0で、同37.0%増と2年連続の上昇となった。  
これは、普通自動車、小型自動車が増加したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	23年			
						I	II	III	IV
生産	112.3	113.4	79.6	109.8	114.6	104.7	93.2	126.9	129.9
前期(年)比	4.6	1.0	▲29.8	37.9	4.4	▲4.6	▲11.0	36.2	2.4
前年同期比	-	-	-	-	-	▲7.5	▲13.4	16.9	19.0
出荷	113.4	114.8	80.7	111.0	115.9	107.2	90.8	127.7	133.1
前期(年)比	4.8	1.2	▲29.7	37.5	4.4	▲2.4	▲15.3	40.6	4.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲6.8	▲16.4	16.0	21.7
在庫	225.7	189.8	165.3	1364.2	1869.0	1123.9	1592.6	2214.9	1978.8
前期(年)比	58.3	▲15.9	▲12.9	725.3	37.0	▲27.2	41.7	39.1	▲10.7
前年同期比	-	-	-	-	-	435.1	141.9	366.1	37.0



(7) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト592.6 生産18業種中7位）  
23年の生産は79.5で、前年比1.0%増と5年ぶりの上昇となった。  
これは、気泡珪カイト製品、セメントなどは低下したが、  
ほうろう鉄器、耐火れんがなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト497.1 出荷18業種中8位）  
23年の出荷は81.6で、同2.3%増と2年連続の上昇となった。  
これは、気泡珪カイト製品、セメントなどは低下したが、  
ほうろう鉄器、衛生用陶磁器などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト811.8 在庫18業種中5位）  
23年の在庫は88.2で、同6.1%増と6年ぶりの上昇となった。  
これは、気泡珪カイト製品、ほうろう鉄器は低下したが、  
道路用珪カイト製品、衛生用陶磁器などが上昇したことによる。

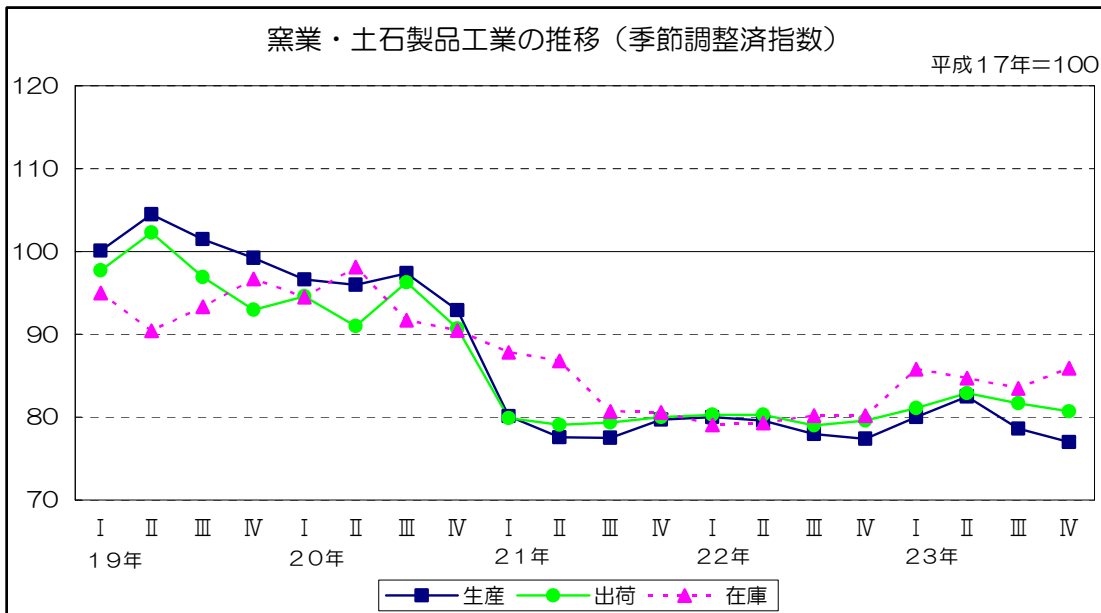
窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	101.2	95.7	78.7	78.7	79.5	80.0	82.5	78.6	77.0
前期(年)比	▲1.3	▲5.4	▲17.8	0.0	1.0	3.4	3.1	▲4.7	▲2.0
前年同期比	-	-	-	-	-	0.4	4.1	0.5	▲0.8
出荷	97.4	93.1	79.6	79.8	81.6	81.1	82.9	81.7	80.7
前期(年)比	▲1.8	▲4.4	▲14.5	0.3	2.3	1.9	2.2	▲1.4	▲1.2
前年同期比	-	-	-	-	-	0.9	4.5	3.3	0.7
在庫	99.3	93.9	83.5	83.1	88.2	85.8	84.7	83.5	85.9
前期(年)比	▲0.7	▲5.4	▲11.1	▲0.5	6.1	7.0	▲1.3	▲1.4	2.9
前年同期比	-	-	-	-	-	8.9	7.9	2.9	6.1

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）

平成17年=100



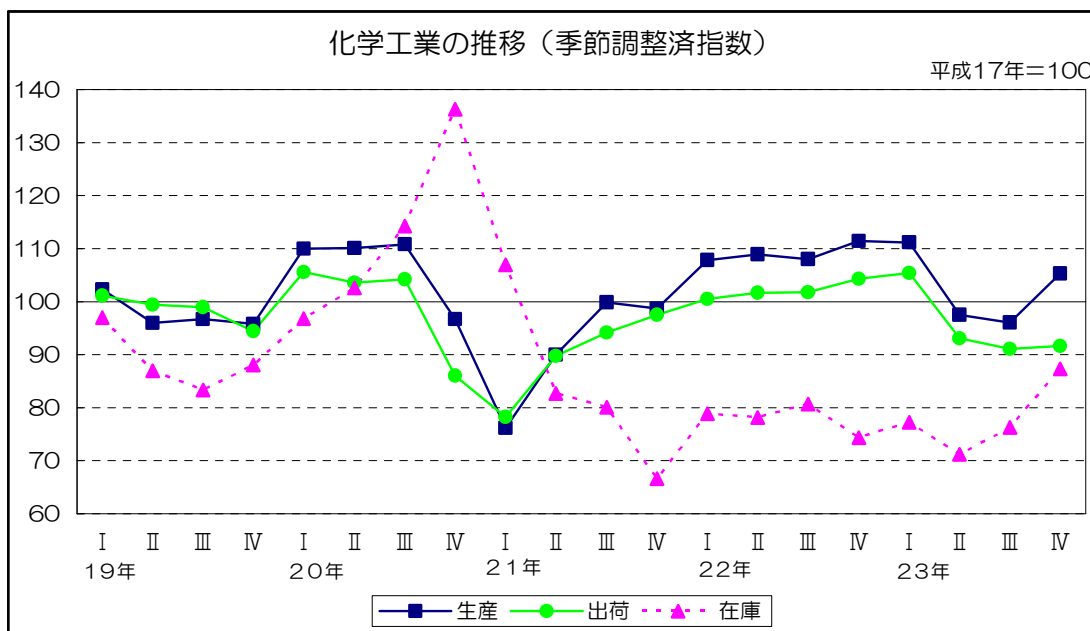
(8) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト886.8 生産18業種中5位）  
23年の生産は102.6で、前年比▲5.9%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、医薬品、カーボンブラックなどは上昇したが、  
トルソル イソシアネート、カプロラクタムなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト641.6 出荷18業種中5位）  
23年の出荷は95.2で、同▲6.7%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、医薬品、クレオソート油などは上昇したが、  
トルソル イソシアネート、ポリアミド系樹脂成形材料などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1824.3 在庫18業種中1位）  
23年の在庫は85.5で、同14.0%増と2年連続の上昇となった。  
これは、複合肥料、ポリカーボネートなどは低下したが、  
ビスフェノールA、ジフェニルメタン イソシアネートなどが上昇したことによる。

化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	19年	20年	21年	22年	23年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	97.8	106.8	91.2	109.0	102.6	111.2	97.5	96.1	105.3
前期(年)比	▲2.8	9.2	▲14.6	19.5	▲5.9	▲0.2	▲12.3	▲1.4	9.6
前年同期比	—	—	—	—	—	4.0	▲12.5	▲10.3	▲4.5
出荷	98.6	99.8	90.0	102.0	95.2	105.4	93.1	91.1	91.6
前期(年)比	▲3.3	1.2	▲9.8	13.3	▲6.7	1.1	▲11.7	▲2.1	0.5
前年同期比	—	—	—	—	—	6.8	▲9.8	▲10.9	▲11.5
在庫	85.2	132.7	66.0	75.0	85.5	77.3	71.2	76.3	87.3
前期(年)比	▲2.5	55.8	▲50.3	13.6	14.0	3.9	▲7.9	7.2	14.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.6	▲10.8	▲5.0	14.0





(9) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1452.7 生産18業種中2位）  
23年の生産は83.0で、前年比▲9.6%減と5年連続の低下となった。  
これは、枝肉、のりなどは上昇したが、  
弁当、めん類などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1467.5 出荷18業種中2位）  
23年の出荷は78.5で、同▲11.2%減と2年連続の低下となった。  
これは、枝肉、のりなどは上昇したが、  
弁当、めん類などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1400.5 在庫18業種中2位）  
23年の在庫は75.0で、同▲16.6%減と3年連続の低下となった。  
これは、その他の調味料、のりなどは上昇したが、  
焼酎、ビールなどが低下したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整指数）

平成17年=100

